

2012年度

外国語学習の手引き

第一外国語：英語

第二外国語：ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語

Welcome !

Herzlich Willkommen !

Bienvenue !

热烈欢迎!

어서 오십시오

大 谷 大 学
大谷大学短期大学部

はじめに

他の言葉を知らない人は、自分の言葉さえ知っていない。

これはドイツの偉大な詩人ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの格言です。私たちは自分の生まれたところで使われている言葉を知らず知らずのうちに身につけ、その言葉（母語）でもって考え生活しています。しかし、普段は自分の言葉について反省などしませんから、思考や行動や意志の発動の仕方までもが、自分の言葉のもっている法則や構造などに限定され制限されていることには、考え至りません。

私たちが普段使っている言葉によって限定され制限されていた状態から解放されるのは、他の言葉に出会い、別の言葉という鏡に自分の言葉を照らし出してみた時です。そうして初めて、広大な世界へと自分の思考や行動を向けていくことができるのです。言葉は文化の根本現象ですから、言葉について言えることは一切の文化現象についても言えます。自己を知るためには自己だけを見つめるのではなく、自己から一歩踏み出して他へと向かわなければならないのです。新しい言葉を習うことの重要性がここにあるのです。

自分の本当の姿を知ることは誰にとっても必ずしも容易なことではないと同様、自分の言葉を批判的に知るための鏡となる他の言葉を習得するのは、決して容易ではありません。しかし、困難なことに敢えて挑戦してこれを乗り越えていこうとすることこそ、青春に与えられた特権ではないでしょうか。自ら進んで広く大きな世界に旅立ち、力を尽して自己発見の道と一緒に歩んで行こうではありませんか。その途上で私たちは世界中の過去と現在の偉大な先輩たちに出会い、共に未来をも語らうことができるのです。

以下においては、共通科目外国語とその発展学習について述べますが、学科においても重要な外国語科目が開講されていることがあります。

目 次

I. 大学での外国語学習	-----	1
II. 共通科目外国語、第2外国語の履修、セット科目 あるいは自由科目の外国語、海外語学・文化研修、 留学制度	-----	3
III. 各外国語の学び方と授業		
1. 英 語	-----	6
2. ドイツ語	-----	10
3. フランス語	-----	14
4. 中国語	-----	18
5. 韓国・朝鮮語	-----	22
6. 視聴覚教材利用のすすめ	-----	27
IV. GLOBAL SQUARE利用のすすめ	-----	28

I. 大学での外国語学習

<意義>

国際化の進む現代において、外国語でのコミュニケーション能力は重要性を増しており、「使える外国語」能力の養成は大学にとっても急務となっています。しかしながら、コミュニケーション能力を養うための早道というものはなく、「会話」だけを勉強しても上達は覚束ないでしょう。外国語コミュニケーションの力は、しっかりとした文法や語彙の知識の上に立ち、頭の中で日本語から外国語に翻訳するのではなく、「外国語で考える」ことができるようになって初めて上達するものです。それは外国語を聞いたり読んだりするときに「日本語に翻訳してから意味を理解する」のではなく、「外国語のまま聞いて（読んで）理解する」ことと同じです。つまり、外国語コミュニケーションの力は「外国語で作文する力」と「外国語で聞く力、読む力」と根本で繋がっているのです。従って、大学での外国語学習が目指しているものは言語の四技能——聴く・話す・読む・書く——を総合的に伸ばしていくことであり、その点がいわゆる会話学校との違いであると言えます。

大学ではこれまで学んできた英語以外の外国語を学ぶ機会がたくさんあります。「はじめに」で触れたように、それぞれの言葉はそれぞれの論理や法則や形式をもっており、外国語を学ぶことによって母語のもつ論理形式や文化内容が初めて明らかに自覚されます。例えば英語やヨーロッパ諸語では「主語」を明示することが必要ですが、日本語では明示しないことも多く、言いすぎると悪文になります。日本語のこのような特徴は誰も英語を学んで初めて気付くことです。

日本語の「稲」「米」「ごはん」は英語ではどれも rice で区別がありません。ドイツ語、フランス語でも区別はなく、それぞれ Reis、riz というのみです。反対に、牛や豚を常食とする文化圏、例えばドイツ語文化圏では「牛」を意味する言葉は五つも六つもありますし、「子牛」は「牛の子」でも「小さい牛」でもなく Kalb という独自の単語で表現されます。つまり、背後にある歴史、風土、文化の全体がこうして言語に表現されているのであり、ことばは単に意味を伝えるための「道具」なのではなく、「ものの捉え方」そのものなのです。我々は外国語を学ぶことによってそのことを痛感し、母語についての認識も深まっていきます。大学における外国語学習の意義は、こうしたことを通して自国の文化と外国の文化をもとに理解し、視野を広げていくことにあります。

<方法>

多くの学生の関心は「実用的な」外国語能力の習得にあるかに見えますが、その場合、「実用的」ということが時には皮相的に解されて、「読解」と「実用」は相反するもののように思われがちです。しかし、上でも述べたようにこれらは相補いながら達成されるべきものなのです。望ましいアプローチは、学習の初期の段階において、基本レベルの聴く・話す能力をまず確立することです。基本レベルの聴く・話す能力は、学問研究のための読解力・作文

力を養成する基盤でもあるのです。

基本的な音声・語彙・文法が身についたら、言語の四技能 — 聴く・話す・読む・書く — のそれぞれをさらに伸ばして行きます。英語学習で経験済みのように、この過程で読解力は伸びても聴く・話す能力はあまり伸びないことが多いのは事実です。それは端的に言えば、聴く・話す力を蓄積していくだけの練習時間をとることが困難なためでしょう。しかし停滞してはいけません。四技能すべてには手が回らないなら、とりあえず伸びやすい力を伸ばしましょう。

外国語学習には「理解」の段階と「身につける」段階とがあります。教師による授業時間は「理解」のために使ってしまうでしょう。「身につける」ためには自分で「復習」「繰り返し練習」に励まねばなりません。「繰り返し練習」では“Look it up in the dictionary.”のような短文を口の中で繰り返さなければなりません。検定試験で用いる「選択肢問題」は「繰り返し練習」にはなりません。それは十分な「繰り返し練習」のあとにすべきものなのです。

＜本学と外国語＞

本学と外国語の関わりにも触れておきましょう。開学期の清沢満之、南条文雄、佐々木月樵らの学長たちによって、仏教を学問として広く世界に解放しようという目標が掲げられたということは、これら三人の学長が、いずれも明治から大正という時期にあって、すでに眼を広く世界に向けていたことを示しています。三先生の生涯や業績を垣間見る時、それぞれの時期において、外国語の学習を通じて触れた外国の宗教、哲学、思想の影響は見逃せません。

現在、響流館4階にある「大谷大学真宗総合研究所」では国際仏教研究のプロジェクト・チームが組織され、海外における仏教研究の実情を調査し、人材や資料の交流を深めていく作業が進められています。同じ階には Eastern Buddhist Society (E. B. S.) 「東方仏教協会」もあり、優れた水準の国際的交流・発信が行われています。その機関紙 *The Eastern Buddhist* は、かつて本学の教授であった鈴木大拙先生が創刊された世界的に有名な雑誌です。大学院では、外国から学界で指導的立場にある著名な学者を客員教授として招き、特別セミナーを開講して学術交流に力を入れています。

Ⅱ. 共通科目外国語、第2外国語の履修、セット科目あるいは自由科目の外国語、海外語学・文化研修、留学制度

<共通科目外国語>

本学では全学生必修の共通科目の中に、次のように外国語科目を置いています。

文学部では第1外国語として英語を、第2外国語としてドイツ語・フランス語・中国語もしくは韓国・朝鮮語のいずれかを、それぞれ第1学年で4単位履修します。(1単位は、外国語の週1回授業では、半年で修得する単位です。)

短期大学部(仏教科実践仏教コースを除く)では、英語2単位を第1学年で必修としています。

英語は世界の共通語の最も有力なものとなっており、日本のすべての中学・高校で学習されています。皆さんがこれまでの英語学習の成果にさらに磨きをかけて英語の理解を進め、これを使いこなすことができるようになることを願っています。

文学部における第2外国語のドイツ語、フランス語、中国語および韓国・朝鮮語は、コースによっては必須の場合があります。そうでない場合でも、皆さんが自分で選択して英語とは異なる外国語を学び、多様で幅広い言語・文化認識を育むことが期待されています。

<第2外国語の履修>

文学部の共通科目としてドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語のうち、いずれを第2外国語として選択するかは、入学手続きをとる際に決定するのですが、入学後は、次の点に留意してください。

- ◎ 共通科目で選択した第2外国語をさらに学ぼうとする人は、それに関連するセット科目を履修するとよいでしょう。
- ◎ 三つ目の外国語は第2学年以降から始める。

向学心に燃える人には、第2外国語以外にさらに三つ目の外国語を習得することももちろん可能です。しかし、いきなり第1学年から英語以外の二つの異なった外国語を同時に学習するのは至難の業で、「二兎を追うものは一兎をも得ず」ということになる恐れが十分にあります。まずは第1学年で、共通科目の第2外国語を学び、三つ目の外国語は第2学年以降に始めるのがよいでしょう。

また、将来文学部への編入を目指す短期大学部生は、編入の際に単位認定がなされるので、短期大学部の間に上記の第2外国語を自由科目で履修しておくことを勧めます。

あらためて言うまでもありませんが、「やさしい外国語」というものはなく、どの外国語も楽に習得できるものではありません。むしろ、困難なものに立ち向かう積極的な姿勢をもって未知の外国語にチャレンジし、その厳しい学びを通して将来のために不屈の精神を培ってください。

<セット科目(文学部)あるいは自由科目(短期大学部)の外国語>

共通科目以外に選択して履修できる科目が、英語、ドイツ語、フランス語、中国語(文学部・短期大学部)と韓国・朝鮮語(文学部)について設けられています。

受講希望者が定員を超えた場合は、抽選などで絞って受講を承認します。したがってまずこの「受講承認」を受け、さらに「聴講登録」を行うことが必要です。最初の授業で抽選が必要ならその場で行いますので、最初の授業から必ず出席しなければなりません。

短期大学部では「自由科目」の中に設けられていますので、『履修要項』の「開講科目表」と『授業概要(シラバス)』を見て選んでください。

文学部では「セット科目」の制度が設けられています。英語、ドイツ語、フランス語、中国語の言語に関しては次のセットが設けられています。

【A. 世界を拓げよう】(ドイツ語、フランス語、中国語。外国語学習科目というより文化的内容です。)

【B. 英語に親しむ】

【C. 英語を深める】(標準的な英文法学習を終えた学生が対象です。)

【D. ドイツ語を学ぼう】 【E. フランス語を学ぼう】 【F. 中国語を学ぼう】

韓国・朝鮮語については、セット科目【G. アジアを学ぶ】と国際文化学科の科目の中で開講されます。(他学科の学生も受講することができます。)

セット科目の詳細は『履修要項』の「セット科目・自己選択ゾーンの履修について」「開講科目表」、『授業概要(シラバス)』、それからこの冊子の各外国語の部分を見てください。セット科目は2セットを選んで登録して履修します。その1つあるいは2つともを上記外国語関連セットからとろうとする人は、第1学年から共通科目外国語を含めて総合的に履修計画を立て、過重な負担や中断がないようにしてください。

<海外語学・文化研修>

1カ月程度の海外語学研修は、短いとはいえ非常に実行しやすく、大きな刺激になり、長期留学のためのよい準備体験ともなります。本学ではセット科目の【C. 英語を深める】【F. 中国語を学ぼう】【G. アジアを学ぶ】の中に、イギリス、カナダ、中国、韓国への「短期語学研修」があり、本学での事前講義と現地での語学研修を合わせて、4単位の科目として開講されています。

また、セット科目の【D. ドイツ語を学ぼう】【E. フランス語を学ぼう】にある「ヨーロッパの宗教と文化」では、ドイツ、フランスを中心とした文化研修が毎年交互に実施され、【G. アジアを学ぶ】にある「中国の宗教と文化」では中国における文化研修が実施されています。これらは語学研修を含みませんが、ドイツ語、フランス語、中国語学習への大きな刺激になるでしょう。他の海外地域を対象とする文化研修もあります。「海外文化研修」は、本学での事前講義と現地での文化研修とで2単位です。短期大学部でも同じ語学研修・文化研修の科目が自由科目として開講されています。

以上は教務課が扱っています。4月初めのオリエンテーション期間中の「国際交流科目説

明会」で詳細を説明しますので、希望する人は必ず参加してください。予備登録の締め切りまでに時間的余裕がありませんので、注意してください。

<留学制度>

本学では、海外への留学を支援できるよう留学制度を設けています。この留学制度は、休学せずに本学に在籍したままで、在学中に海外の大学に留学できる制度です。留学期間(文学部は6カ月又は1年、短期大学部は6カ月)は、本学の修業年数に算入され、留学中に履修した科目内容や時間数に応じて、帰国後、本学の単位として認定されます。

留学先は、本学が学術交流協定を結んでいる大学を利用するか、あるいは自分で選択するのも良いでしょう。ただし、一定の条件を満たさなければ留学とは認められません。また、窓口となっているGLOBAL SQUAREに事前に手続き書類を提出し、認定されなければなりません。留学を希望する場合は、できるだけ早くGLOBAL SQUAREに相談し、十分な準備期間を経た上で、実行できるように注意してください。詳しくは『留学の手引』を見てください。GLOBAL SQUAREについては、この冊子の最後に詳しい説明があります。

Ⅲ. 各外国語の学び方と授業

1. 英 語

<目標>

大学で何を専攻するにせよ、英語は将来必ず必要になってきます。賢明な手順で発展性のある英語力をつけるためには、まず、中高6年間の英語学習の中で習得していない必須事項を点検しこれを習得することで基礎固めをしっかりとすることが大切です。

授業に出て卒業単位をとるだけでは練習量が足りず身につけません。納得できるまで自己学習することが必要です。英検2級は多くの人にとって可能な目標です。将来の仕事・専門研究・国際交流につなぐためには、さらに英検準1級の英語力を養ってほしいと思います。そのためには毎年4単位分以上の英語授業を4年間受けるだけでなく、積極的に自己学習することが必要です。『週刊ST』『毎日ウィークリー』等の英語学習週刊紙(これらはCDも発売)、CD付月刊誌、検定試験教材等、継続学習教材は豊富です。

英語を仕事・専門研究・国際交流等に活かすためには、多大な学習量が必要です。実際にそれらの活動に英語を使用している人達が行った自己学習をも含む学習量は、単位数に換算すれば何十単位にもなるでしょう。日常の学習のみでなく、いつかは集中的研修も必要です。最終的には、英語を実際に使いながら、自分なりの学習を完成させることになるでしょう。

<英文法>

「英文法」というと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、基礎的な文法の知識がなければ、それ以後の英語学習は空回りしてしまいます。文学部第1学年の「英語(読解)」や短期大学の自由科目「英語」では、基礎的な文法事項の説明を加えながら、英文の理解を進めて行きますが、授業だけではなく、自分で英文法書を読み、遅くとも第1学年の間に英文法の必須事項を正しく理解しておいてほしいと思います。英文法書は、高校生用とされているものが一生使えます。『ラーナーズ高校英語』(数研出版)、『総合英語フォレスト』(桐原書店)、『シード総合英語』(文英堂)他いろいろ出ていますので、自分に合ったものが選べます。

<読解>

文学部第1学年の2つの「英語」のうち1つは、科目名が「英語(読解)」になっています。文学作品、論説、エッセイ、報道文などの「読解」の授業であり、短期大学部では自由科目の「英語」の中に読解の授業が含まれています。

読解授業で使うテキストには、知らない単語がたくさん出てくると思います。大学の英語読解授業では、未知の単語の意味は教師から与えてもらうのではなく、辞書と自分の読解力とを駆使して予習することが必要であり、予習が何よりの読解練習になるのです。

和訳を英語教師が要求するのは、皆さんが「着実に」英語の「構造」を理解して読んでいくかどうかを知るためです。単語を想像でつなぎ合わせると奇怪な和訳になってしまい、有害この上ありません。読解授業では精読によって読解力のレベルを上げることが主になりますが、そのレベルの読解力を自分のものにするには、まだ何倍もの読解練習をする必要があります。そうした多読練習によって、英文に対する感覚、すなわち、単語の意味を文脈の中で理解し、文の流れをより長いスパンで理解する能力、最終目標としての「英文のまま内容を理解する」力がついてくるのです。教材には300語レベルからの段階的読本もあります。
(例：ペンギンリーダーズ)

<総合>

文学部第1学年のもう一つの「英語」と、短期大学部「英語」は、科目名が「英語（総合）」になっています。「総合」とは四技能総合の意味であり、中でも音声重視が独自の要素です。

ことばは元来、音声によるコミュニケーションのために発生しました。まず発音・聴き取りの弱点をできるだけ克服し、授業を積み重ねるほど発音・音読・聴解の力が上達するようにしたいものです。教科書付属のCDがあるなら、必ず活用しましょう。不得意なところは自宅復習で繰り返し練習することが、力をつける秘訣です。短文・長文のリスニング教材や、英語音声学の観点から制作されたリスニング教材も市販されています。

<学力に応じた履修>

新入生諸君の英語力はさまざまであり、一様に教えることができない段階に入っています。英語力はさらに分けて、(a) 文法・読解・作文と、(b) 発音・聴解・スピーキングの二方面について見る必要があります。文学部では英語クラスを (a)の学力によって編成するよう努めています。

(b)の学力を自分の力に応じて伸ばすためには、セット科目／自由科目の関連科目を履修してください。

<セット科目あるいは自由科目>

英語の力をつけようと真剣に思う人は、授業の不足分をセット科目／自由科目で補い、毎年4～6単位程度履修すべきです。英語ネイティブ・スピーカー担当の「オーラル・コミュニケーション」「英語会話」などでは、出席が極めて重視されます。欠席は Semesterごとに3回までしか許されません。

以下は文学部の英語セット科目についてです。

英語は6年の学習履歴があり、もはや少しだけ「やってみる」段階ではなく、セット科目として選択して「ものにする」段階です。【B. 英語に親しむ】【C. 英語を深める】の実技科目（1単位科目）では、履修希望者が多数になれば抽選します。

【B. 英語に親しむ】は、標準的な力を確立したい人と、基本レベルから学習し直したい人のためのセットです。共通科目以外にも英文法学習が必要な人は、このセットで学習して

おいてください。

【C. 英語を深める】は、英文法学習を終えた人の中級からのセットです。英文法は一通り分かっているものとし、一から説明することはありません。教師としては、このセットの受講者は各自が部分的に不確実な文法事項は自習できるものと考えます。

<辞書の選び方>

皆さんの多くは、『ライトハウス英和辞典』のような、高校生以上用学習英和辞典を使ってきたと思います。CD付属のものもあり、付属CDで発音や会話文をマスターすることは非常に有益です。しかし収録語数がやや少ないため、大学の授業で出てくる単語を引いても見つけれないことがあるでしょう。そこで大学生から社会人でも役に立つクラスの学習英和辞典にも目を向けなければなりません。そのクラスの『ジーニアス英和辞典』、研究社『新英和中辞典』等を既に使っている人もいるでしょう。皆さんは当分、こうした高校以上大学・社会人レベルの辞書を真っ黒になるほど使い、それらから最大の効用を引き出すようにしなければなりません。電子辞書を使う場合でもこのクラスの英語辞書が収納されているものを使用してほしいと思います。

上記のような中型までの辞書は、学術用語が豊富ではないため専門書を読むには適さない場合もあります。そのような時は、研究社『新英和大辞典』『小学館ランダムハウス英和大辞典』『ジーニアス英和大辞典』などを、図書館や研究室で引くようにしてください。和英の大型辞典には研究社『新和英大辞典』があります。

さて英語を学習する以上、英英辞典のほうがよくわかる、というレベルに早く達したいものです。英和辞典ではどうしても日本語の訳語にとらわれてしまいますが、英英辞典を使っていると英語のみによって語と語の関連の理解が育っていきます。英語学習者向けの英英辞典として『OXFORD現代英英辞典』『ロングマン現代英英辞典』、語義の示し方に新機軸を出した『コリンズコウビルド英語辞典』があり、アメリカ英語辞典もあります。これらは英和辞典同様に一般書店で販売されています。もっと易しい英英辞典も出版されており、それらを英英辞典入門用に使うのも楽しいものです。

最大級の英英辞典としては、イギリスの *The Oxford English Dictionary* (略称 *OED*)、アメリカの *Webster's Third New International Dictionary* (略称『ウェブスター第3版』)があります。これらの辞書はその編集・出版自体が文化的大事業であり、それらの出版経緯を物語る本が書かれている程です。

<検定試験・海外研修のすすめ>

大学での英語学習に身近で具体的な目標をもつことは大きな励みになります。学外で行われる検定試験を積極的に受けてみてはどうでしょう。自分の英語力を客観的に知り、人にもアピールできることは、対社会的にも必要なことです。

親しみ易い「英検」については、手始めに準2級を受け、2級を現実的な目標とし、卒業の頃には準1級を目指してほしいと思います。「英検」2級に合格したら企業が重視してい

る TOEIC (Test of English for International Communication、トイーック)も対象にする
とよいでしょう。自分のTOEICスコアを上げることは、就職対策としても非常に有効です。
TOEICについては講習と学内特別試験(IP)をキャリアセンターが行っています。また、GLOBAL
SQUARE (p.28参照)でも勉強会を行っています。

教務課で扱っている短期の海外語学・文化研修(Ⅱ章既述)で英語を内容とするものにつ
いては、「イギリス文化研究・実践英語」と「カナダ文化研究・実践英語」があり、2012年
度からは毎年交互に実施される予定です。イギリスは夏期休暇中にカンタベリー・クライス
ト・チャーチ大学において、また、カナダは春期休暇中にトンプソン・リヴァーズ大学にお
いて、いずれも3週間余り行われます。2012年度は、2013年2月中旬から3週間、カナダでの
研修が開講される予定です。本学での事前講義と現地での語学研修を合わせて4単位を取得
することができます。対象学年は、イギリスの場合、文学部は第2～4学年、短期大学部は
第2学年のみ、カナダの場合、文学部第1～3学年、短期大学部は第1学年のみです。参加
資格には条件がありますので、詳しくは『履修要項』等で確認してください。

研修は、語学の授業だけでなくホームステイを通してホストファミリーと一緒に日常の生
活を体験し大勢の人たちと出会う中で、日本とは異なる文化・歴史・習慣について様々なこ
とを学び考える貴重な機会となるでしょう。イギリス研修では、英国国教会の大本山である
カンタベリー大聖堂を日々仰ぎながら、イギリスの歴史と文化を肌で感じることができます。
研修の最後には、ロンドン観光も含まれています。カナダの研修では、語学研修に加えて、
現地の小学校での日本文化の紹介や様々なボランティア活動も盛り込まれています。ただし、
いずれの研修も国際情勢その他の条件によっては開講されない場合もあります。

なお、参加希望者は必ず年度初めのオリエンテーション期間中に開かれる「国際交流科目
説明会」に参加し、受講資格等を確認のうえ予備登録カードを提出してください。受講を希
望する人は、第1学年から積極的に英会話クラスを履修しましょう。



カナダのトンプソン・リヴァーズ大学からの眺め

2. ドイツ語

はじめてドイツ語を学ぶ皆さんはきっと不安な気持ちで一杯でしょう。ドイツ語は難しい、と先輩から聞いているかもしれませんが、でも心配は無用です。全員が同じスタート・ラインに並んでいるのですから。以下のヒントを参考にして学べば、ドイツ語が身近なものに感じられることでしょう。

<発音について>

ドイツ語の発音は、もちろん例外もありますが、基本的にはローマ字読みと同様で、最初の母音にアクセントがあると考えればよいでしょう。例えば「ありがとう」を意味するドイツ語 „danke“ は、[ダンケ]と発音します。

<文法について>

ドイツ語の文法は複雑だとしばしば言われます。しかし、これは必ずしも的を射ているとは言えません。なぜなら、ドイツ語の変化の大部分は、少数の基本的な変化（格変化や人称変化等）を応用したものであるからです。みなさんはこれらの基本を主として前期で学ぶこととなります。これらを暗唱できるほど習得すれば、複雑だと言われるドイツ語文法が、じつはきわめて整然としたものであることを理解することができるでしょう。外国語の学習で大事なことは反復です。反復の度合いが多ければ多しだけ、定着度が高まります。口頭および筆記による練習を繰り返して、基礎変化を暗唱できるようにしましょう。

<開講科目について>

文学部では、共通科目のドイツ語に加えて、セット科目【D. ドイツ語を学ぼう】におけるネイティブ・スピーカーによる初級会話をはじめとして、基礎語学力の強化を計る授業、初級文法・読本を中心とする授業、あるいは読解力養成・強化に主眼を置いた授業、さらに西ヨーロッパドイツ語圏の文化的エッセンスにじかに触れる授業などが開講されています。あなたの興味と目的に応じて、心ゆくまでドイツ語圏のことばや文化を学んでください。

また、短期大学部では、ネイティブ・スピーカーの授業を含むドイツ語を自由科目に設けてありますから、将来、文学部への編入を目指す方や、ドイツ語に関心のある人は積極的に履修しましょう。

<辞書について>

ドイツ語の習得に独和辞典は不可欠です。ただし、独和辞典ならどれでもよいというわけではありません。自分の実力と目的に応じて使い分けるのがポイントです。

ドイツ語をはじめて学ぶ方には、初級用の辞書として以下のものをおすすめします。☆印のついたものは、発音がカタカナでも示されているものです。

- | | | |
|---------------|-------|----------------|
| ① ☆『アポロン独和辞典』 | (同学社) | 見出し語 約 53,000語 |
| ② ☆『エクセル独和辞典』 | (郁文堂) | 見出し語 約 20,000語 |

ドイツ語の基礎を習得し、さらに力をつけたいという中級者には以下の辞書をおすすめします。

- | | | |
|---------------|-------|-----------------|
| ③ ☆『フロイデ独和辞典』 | (白水社) | 見出し語 約 75,500語 |
| ④ 『独和辞典』 | (郁文堂) | 見出し語 約 110,000語 |

ドイツ文学やドイツ文化を専門的に学ぶ方、あるいは、大学院への進学を考えている方には、以下の辞書をおすすめします。

- | | | |
|--------------------|-------|-----------------|
| ⑤ 『独和大辞典』 (コンパクト判) | (小学館) | 見出し語 約 160,000語 |
|--------------------|-------|-----------------|

①の辞書は、初級者向けの辞書として定評のあるもので、和独をはじめとする巻末付録が充実しています。②の辞書は、基本単語を網羅しながらも、ハンディなのが特徴です。③の辞書は、初心者にも中上級者にも使いやすいように工夫されています。巻末には和独と品詞変化表、ドイツ歌曲選等が付録としてついています。④の辞書は、中型の辞典であるにもかかわらず、語彙がきわめて豊富です。⑤の辞書は、収録語彙がもっとも多いのが特徴です。

最近では携帯に便利だということで、電子辞書も幾つか出ています。しかし、これらはドイツ語の基礎知識がなくてはうまく使いこなすことができません。すでに紹介した初級者向けの辞書で引き方のコツを習得してから購入することをおすすめします。

辞書にも相性があります。どの辞書を購入するにせよ、以上のアドヴァイスを念頭に置き、単語をいくつか選び出して、それらが上記の辞書ではどのように解説されているか、何冊か比較し、自分の好みに合うものを選べばよいでしょう。もちろんどんな立派な辞書を買っても、使わなくては宝のもちぐされ、「辞書を生かすも殺すもあなた次第」であることは言うまでもありません。

なお、和独辞典としては、次のようなものがありますが、ドイツ語に少し慣れてから購入しても決して遅くはないでしょう。

- | | |
|-----------|-------|
| ①『和独辞典』 | (郁文堂) |
| ②『現代和独辞典』 | (三修社) |

また、独独辞典としては次のものを利用するとよいでしょう。

Deutsches Wörterbuch (Wahrig)

以上、辞典について簡単に解説しましたが、絶版などにより入手困難な辞書もあるかもしれません。その際は、古書店などを利用するとよいでしょう。

ところで、ドイツ語においては、文法を知らなければ辞書を十分に引きこなすことができません。そこで、独和辞典を使用するに際して、どのような点に注意すればよいのかを、以下に挙げておくことにしましょう。

(1) 辞典のはじめに記されている使用上の注意書きをよく読むこと。

(2) 見出し語は左の端にあるとは限らない。

例えば Stadt (都市) は左端にでてくるが、合成語の Stadtbewohner (市民) は、~bewohner としてなかほどに出てくる場合がある。

(3) 名詞の引き方 (名詞の語頭は大文字)

辞書を引いて出てこないときは、-e, -s, -n, -es, -en, -er, -ern の語尾があればそれを取ってみる。

(4) 動詞 (助動詞) の引き方

動詞・助動詞は語幹に -en または -n が付いた形 (不定詞) で出てくる。しかし、実際の文章においては、-e, -st, -t, -en, -est, -et, -n, -te, -test, -ten, -tet の語尾が語幹についている (また大部分の過去分詞の語頭には ge がつく)。したがって、それらの語尾 (あるいは語頭の ge) を取り除いて、-en または -n をつけて辞書を引くこと。

(5) 形容詞の引き方

形容詞は原級で出てくるが、名詞を修飾する時には、-e, -em, -en, -er, -es の語尾が原級に (比較級、最高級のときは -er, -st のあとに) つく。したがって、これらの語尾を取り除いた形で辞書を引くこと。

(6) 略号や記号をよく理解すること。

[m, f, n] [男, 女, 中] ; 名詞の性 (男性、女性、中性) を示す。

[et², et³, et⁴] [事², 事³, 事⁴] ; 事物の所有格 (2格)、与格 (3格)、対格 (4格) を示す。

[js, jm, jn] [人², 人³, 人⁴] ; 人の所有格 (2格)、与格 (3格)、対格 (4格) を示す。

[nom., gen., dat., acc.] ; 主格 (1格)、所有格 (2格)、与格 (3格)、対格 (4格) を示す。

例えば mit dat. とあれば、与格 (3格) と共に という意味である。

[*] ; 動詞や形容詞の右肩について不規則変化であることを示す。従って、その動詞の過去 (基本型)、過去分詞は巻末の不規則動詞変化表を参照する。

<検定試験について>

力がついた段階でドイツ語検定試験にもチャレンジしてみましょう。ドイツ語にも英語と同様に『独検』（ドイツ語技能検定試験、詳細は、<http://www.dokken.or.jp/>を参照）があり、1級から5級までの段階が設けられています。また、ヨーロッパ共通基準の外国語検定として „Start Deutsch“ があります。これらのドイツ語検定試験のための特別な授業は設けられていません。しかし、ドイツ語のセット科目や自由科目を積極的に受講することで、そのための対策をたてることは可能です。受験の方法など詳しいことについてはドイツ語教師に遠慮なく相談してください。

<研修旅行について>

身についたドイツ語を実際に使用する機会として、セット科目【D. ドイツ語を学ぼう】で開講されているヨーロッパ文化研修「ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）」があります。この授業には語学研修は含まれていませんが、事前講義と現地での文化研修で2単位が修得できます。ドイツ語ばかりではなく、ドイツ語圏の文化に直接触れられる良い機会でもあります。この研修は、ドイツ語圏とフランス語圏が隔年に開講されますので、『履修要項』や4月初めのオリエンテーション期間に実施される「国際交流科目説明会」で確認してください。



2010年度ヨーロッパ文化研修 <ドイツ ローテンブルクにて>

3. フランス語

文学部では共通科目のフランス語の他に、ネイティブ・スピーカーの会話を中心にした授業、日本人教師によるコミュニケーション能力を養うことを目指す授業、文法を中心に行う授業、読解を中心に行う授業など、【A. 世界を拓けよう】【E. フランス語を学ぼう】の二つのセットにわたってさまざまな科目が設置されています。それらの科目も積極的に受けることをおすすめします。

短期大学部でも、まったくの初心者が少数で学べる自由科目がありますので、文学部への編入を希望している学生も含めてぜひ利用されるとよいでしょう。

また、フランス語を学ぶことで広がる可能性については、『フランス語で広がる世界－123人の仲間－』（駿河台出版社）に書かれています。将来の自分をイメージできれば、学習効果も大いに上がるはずです。

<発音について>

フランス語では、綴字と音の間に一定の規則があり、英語と違って発音にはほとんど例外がありません。また、必ずしも褒められたことでないにせよ、カタカナ式発音をしても通じないことはなく、フランス語の発音は英語のそれよりずっと易しいです。

綴字と発音との法則を早く覚えて、予習の段階から積極的に音読してみることが効果的です。フランス語では、発音上の都合が文法を規定していることが少なくなく、発音をきちっとマスターすることは文法の理解をずっと容易にしてくれます。

<文法について>

文法というと毛嫌いする人が多いのですが、文法とは読解や筆記だけでなく、話せるようになるためにも必要な最も基礎的な知識です。フランス語では辞書を引くにも最小限の文法知識が必要です。

文法では、動詞の活用が難しいとよく言われます。しかし、フランス語動詞の95%までが、すぐその変化の規則を覚えられる規則動詞です。とにかく文法は、最初からあまり細かい規則や変化にきゅうきゅうとせず、むしろ基礎構造をきちんと理解した上で、できるだけ多くの基本文の暗記によって体得することが大切です。

そのためにも、やさしい文法書を予めざっとでも通読しておくことは今後の学習を大いに実りあるものとしてくれるはずです。限られた時間で、一つの外国語を全体的に把握したい場合、これほど便利なものもありません。ちなみに、ここで、分かりやすさで定評のある文法参考書を何点か挙げてみます。フランス語の先生のアドヴァイスにも従った上で購入して読んでください。

清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもほどがある！』（白水社）

猪狩廣志『ゼロから始めるフランス語（文法中心）』（三修社）

浅岡夢二『ゼロから始めるフランス語（チェックテスト）』（三修社）

数江譲治『フランス語のABC』（白水社）

田島宏偏『コレクション フランス語③文法』（白水社）

久松健一『英語がわかればフランス語はできる！』（駿河台出版社）

小林 正『テーブル式 基礎フランス語』（評論社）

これらはいずれも、初級文法を手際よくまとめていますので、その気になれば5月の連休までに通読することも十分に可能なはずです。この位の気構えのある人なら、1年後にはフランス語がきっと得意科目になっていることでしょう。ちなみに、1年間、音声面を含めて基本をしっかり勉強した人なら、「仏検」4級、ごく基本的な範囲を身につけた人でも5級に無理なく合格することができます。そして、これらの資格は、近い将来、自分の履歴書に胸を張って書けるものでもあります。

<会話クラスについて>

日常的话题に沿って生きたフランス語をマスターしようと思っている皆さんは、従来の訳読式授業の弱点を補うために設けられている、この会話クラスを大いに活用してください。このクラスは基本的に、日本語にもよく通じたネイティブ・スピーカーの先生によって行われます。特に最初のうちは、日本語で説明がなされますので、まだフランス語が全く話せない人でも、意欲さえ十分にあれば、安心して受講できます。もっとも、自己を表現する発信型の外国語学習のためには、いずれ、フランス語特有のものの考え方や発想を、日本語を介さずに直に体得することが肝要で、授業で無理のない範囲で導入される「直接教授法」は、生きたフランス語体得の目的に最もかなったものなのです。

授業中には、多少間違ってもかまいませんから、どんどん積極的に発言したり質問したりするよう心がけましょう。そして、直接皆さんのクラスを担当していない場合でも、本学の専任教員（番場、藤田）はいつでも皆さんの質問に答えられるようにしていますので、遠慮なく尋ねるようにしてください。

<フランス語表現法演習について>

この授業の主な目的は、フランス語を書くことで自己を表現し、情報を発信することです。そのために、授業では次のことを行います。

(1) フランス語を読むこと

まずは、表現のモデルとなるフランス語の文章や詩を読みます。文法事項の復習もします。

(2) フランス語で書くこと

モデルにならって、自分でも文章や詩を書いてみます。自己紹介、家族や趣味の紹介、思い出、将来の夢などをフランス語の短い文章で表現します。また、言葉を絵のように並べるカリグラム作成にも挑戦してみましょう。

(3) フランス語で情報発信すること

京都を訪れる、あるいは京都に住んでいるフランス人に役立つような情報ページをグループワークで作成します。完成した作品は、フランス語作文や詩と合わせて、インターネット

上に公開されます。

今日、我々はインターネット上にある膨大なフランス語の情報に直接アクセスすることができますが、その活用法を知ることも授業の目標のひとつです。インターネットに広がるフランス語の世界を体験し、自分もフランス語で情報を発信してみましょう。

<辞書について>

辞書は語句の意味を引くだけでなく、単語の発音や綴り字、動詞の変化や時制を調べることにも使います。したがって、辞書は以下の点に注意して選びましょう。

- a 収録されている語の数が十分かどうか。
- b 例文や慣用句が豊富かどうか。
- c 説明が自分にとって見やすく、わかりやすいかどうか。

以下はフランス語を学ぼうとする初心者にふさわしいと思われる辞書の一部です。フランス語の先生の授業での説明を受けてから購入するようにしてください。

- ①『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（改訂新版）、旺文社、約38000語収録。
- ②『クラウン仏和辞典』、三省堂、約45000語収録。
- ③『現代フランス語辞典 (Le Dico) 』、白水社、約34000語収録。
- ④『ジュネス仏和辞典』、大修館、約38000語収録。
- ⑤『プログレッシブ仏和辞典』、小学館、約35000語収録。
- ⑥『新スタンダード仏和辞典』、大修社、約65000語収録。
- ⑦『ロワイヤル仏和中辞典』、旺文社、約65000語収録。

①と⑦には巻末に動詞の活用形索引があり、②と⑤には類義的な基本的語句の使い方についての説明があります。また①と②と③と④と⑦には基本的な和仏語彙集が収録されています。また、①②にはCD-ROM版も出版されています。将来フランス文学や哲学を学びたいと思っている人は最もその目的にふさわしい⑦もしくは⑥を、それ以外の方は①から⑤までの辞書から選べばよいと思われます。また、和仏辞典を使いたいという人のために、『プチ・ロワイヤル和仏辞典』（旺文社）と『コンコルド和仏辞典』（白水社）を挙げておきます。

<テレビ、ラジオ、学外機関の利用、検定試験および研修旅行について>

大学の授業をしっかり受けることは当然なことです。それと並行してNHKのラジオ講座やテレビ講座を聞いたり見たりすることを是非おすすめしたいと思います。なぜなら、大学の授業では時間的な制約から聞いたり言ってみたりする練習が不足するからです。衛星放送でニュースを聞くことや、インターネットでフランスの現在の情報を容易に手に入れられるということも付け加えておきます。

将来フランスに留学することを考えている人や、より一層フランス語の力をつけたいと思っている人には、学外の機関の利用も考えられます。京都では、フランス政府公認の関西日仏学館をおすすめします。

さらに、身につけた力を試すうえで、検定試験を受けることを薦めます。フランス語の検定試験として現在最も一般的なのが「仏検」（実用フランス語検定）で、専門的職業のレベルとされる1級から、第二語学として一年間勉強した程度のレベルと考えられる4級やそれよりもさらに基本的なレベルの5級までの五段階が設けられています。試験は春秋の年2回実施されています。また、「フランス文化省認定フランス語資格試験」も年3回実施され、京都でも関西日仏学館で受験できます。これらの試験で取得した資格は、たとえ初級でも履歴書にも記載できる公的なものですし、自分の到達レベルを把握し以後の学習の励みとする意味でも、積極的に受験したらいいでしょう。

また、【E. フランス語を学ぼう】というセット科目群の中で開講されているヨーロッパ文化研修〔ヨーロッパの宗教と文化（フランス）〕には語学研修は含まれていませんが、事前講義と現地での文化研修で2単位が取得できます。4月初めのオリエンテーション期間に開催される「国際交流科目（海外語学・文化研修）説明会」に出席してください。

フランス語が話されている国とその国の文化をこの目で見て、自分で実際にフランス語を使わざるを得ない状況に身をおくことはとてもよい経験ですし、帰国してからの意欲的学習につながる人が多いものです。



2011年度ヨーロッパ文化研修
＜フランス パリの
エッフェル塔を背にして＞

＜GLOBAL SQUAREについて＞

GLOBAL SQUARE（響流館3階）には、フランス映画を始め、フランス文化に関する情報ソフトが備えてありいつでも利用できます。留学の相談にものりますし、単位にはなりません。また、「フランス語検定準備」や学生の希望に合わせた、フランス語の勉強会を行っています。

＜助教の廣田大地先生よりひと言＞

外国語を学ぶこと、それは私たちを未知の世界へと導く素敵な冒険！

響流館3Fの総合研究室にいますので、フランス語・文化に関して何か質問があれば、いつでも気軽に私のところまで来てください。

4. 中国語

古来より日本文化に多大な影響を与えてきた中国。その中国のことばとはどのようなものでしょうか？これから中国語の世界を紹介します。

<発音について>

中国語は聞いて美しい言語です。「小鳥が鳴いているようなことば」と形容されることもあります。それは4つの声調（トーンイントネーション）があるからです。

第一声	ā	高くのばす調子	=	「マイクのテスト中…」の「 <u>ア</u> 」
第二声	á	下から上へあがる調子	=	驚いた時に発する「 <u>ア</u> ッ?!
第三声	ǎ	低くおさえる調子	=	がっかりした時に発する「 <u>ア</u> ～ア」
第四声	à	上から下へさがる調子	=	カラスの鳴き声「 <u>ア</u> ア」

この4つの声調の違いは、ことばの意味に深く関係します。例えば **tang** という音一つでも、

第一声	tāng	汤	スープ
第二声	táng	糖	キャンディ
第三声	tǎng	躺	寝ころぶ
第四声	tàng	烫	やけどする

のように、声調が違えば意味が全く異なります。大学での中国語学習は、まずこれら4つの声調をマスターすることから始まります。

<文字・記号について>

上の<発音について>で挙げた記号のついたアルファベット（例：tāng）は中国語の発音記号で「ピンイン（拼音）」といいます。ピンインの右にある文字（汤など）は中国の漢字で、「簡体字（简体字）」といい、日本の漢字とは形がやや異なります。

もちろん「糖」のように、日本の漢字と全く同形の簡体字もあります。しかし、形は同じでも意味が異なるケースもありますから要注意です。

<日本の常用漢字>	:	<中国の簡体字>	:	<中国語の意味>
娘	:	娘	:	お母さん
他	:	他	:	かれ（彼）
走	:	走	:	歩いて行く

日本の漢字との共通点・相違点を学ぶことも、中国語学習の面白さと言えるでしょう。

<文法について>

中国語の文法は英語に似ていて「主語—述語—目的語」の順です。しかし、英語のような時制がありません。また、男性名詞・動詞の女性形などありません。その代わりに中国語は語順がとても重要です。なぜでしょうか？

例えば日本語の話し言葉では、

【日本語】○彼は私を叩く。＝ ○私を彼は叩く。＝ ○彼は叩く私を。＝ ○私を叩く彼は。

のように、「私」「彼」「叩く」のどれを入れ替えても、助詞の「は」「を」を使いわけることによって、「誰が何にどうするのか」を明確に表すことができます。ところが、中国語では語順を入れ替えると意味が逆になったり、全く意味不明の文になってしまいます。

【中国語】○他 打 我。≠ ○我 打 他。 ≠ ×他 我 打。≠ ×我 他 打。
Tā dǎ wǒ. Wǒ dǎ tā. Tā wǒ dǎ. Wǒ tā dǎ.

【和訳】 彼は私を叩く。 私は彼を叩く。 ?? ??

中国語には日本語のような助詞の「は」や「を」がないため、語順がその役割を担います。ですから中国語では語順が大切なのです。

<辞書について>

中国語の辞書は様々なものが出版されています。ここでいくつか紹介しておきます。

- | | | |
|-----------------------|-----------|---------------|
| ① 『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 | 約 11000 語 | CD (発音レッスン) 付 |
| ② 『東方中国語辞典』東方書店 | 約 42000 語 | イラスト・コラムが充実 |
| ③ 『クラウン中日辞典』三省堂 | 約 53500 語 | CD (発音の手引き) 付 |
| ④ 『中日辞典』講談社 | 約 87000 語 | 用例にピンインを付す |
| ⑤ 『中日辞典』小学館 | 約 10 万語 | 写真・コラムが充実 |
| ⑥ 『中国語辞典』白水社 | 約 11 万語 | 文法解説が詳しい |
| ⑦ 『中日大辞典』大修館 | 約 14 万語 | 専門的語彙も含む |

収録単語の数が多いほど、中級～上級向けとなります。みなさんが将来進みたい専門分野を見据えて購入することをおすすめします。さらに、上記のうち④(『中日辞典』(講談社)の第三版)のみパソコンにインストールして使える CD-ROM 版辞書付属タイプも販売されています (Windows XP/Vista 対応。Windows 7 でも動作確認。CD-ROM 版単体でも購入可能)。

また、電子辞書もあります。ここでは中国語の辞書ソフト(収録辞書)を搭載したモデルを中心に、数機種ピックアップしておきます。

- ・ Canon wordtankZ800 上記の⑤と⑦を収録 (2012 年春発売予定)
- ・ Canon wordtankZ900 上記の④と⑤と⑦を収録 (2012 年春発売予定)

- ・CASIO XD-B7300 上記の⑤と⑦を収録
- ・CASIO XD-D7300 上記の⑤と⑦に『中国語生活図解辞典』を収録
- ・SHARP PW-AC30 上記の⑤を収録

これら以外に、自分で中国語辞書カード(ソフト)を入れて使用できる機種も販売されています。

電子辞書にはインターフェイス(カラー画面か白黒か)・発音機能の有無・付属辞書(日本語や英語)など、それぞれ特長がありますから、パンフレット等をじっくり見て、自分の用途に合うものを選びましょう。また4月は新学期に備えて新機種が発売される時期ですから、上記以外の機種も店頭では見られることでしょう。

最近では、スマートフォン等で使える電子辞書アプリも販売されるようになりました。中国語辞書に関して言えば、現在はまだ1種のみで、⑤の中日辞典と日中辞典(共に小学館)をセットしたアプリしかありませんが、今後こうしたアプリが増えるだろうと予測されます。様々な中国語学習用アプリも出ていますので、どんなものがあるかを調べてみるのも、外国語学習の第一歩と言えるのではないのでしょうか。

<開講科目について>

セット科目【F.中国語を学ぼう】には、中級会話・上級会話などさらなるステップアップをはかる授業や、ネイティブスピーカーによる会話の授業、読解力を身につけるための授業、海外語学研修(後述)などが含まれます。ことばを通して中国の歴史や文化にも触れられるような内容の授業を開講しています。

<検定試験について>

中国語学習の励みとなる検定試験を紹介します。将来、留学を考えている人や、中国と取引のある企業への就職を希望する人は、検定試験を目標に学習すれば、とてもよい刺激になるでしょう。

◎ 中国語検定試験

これは日本中国語検定協会が毎年春秋冬の3回実施する試験です。合格者は、名簿に登録され、級別認定書が授与されます。日本で中国語能力を認定するもっとも権威ある検定試験です。

◎ 汉语水平考试(新HSK)

中国政府教育部(日本の文科省に相当)が認可した、中国語を母国語としない中国語学習者のための中国語能力認定試験です。HSKの成績は、TOEFL同様、外国人留学生として中国の大学に入学する際の中国語能力の証明となります。これまで難易度がやや高かったのですが、2010年度より基準が見直され、受験しやすくなりました。日本国内でも受験できます。

◎ ビジネス中国語検定（BCT）

中国経済の発展とグローバル化に伴い設けられた検定で、ビジネス分野のみに重点を置いて語学力を測る試験が行われます。90年代に発足し、毎年4回試験が実施されます。

＜海外語学研修＞

セット科目「F. 中国語を学ぼう」では、「中国文化事情・実践中国語」が開講され、大谷大学と協定を結んでいる中国の大学（首都師範大学（北京）または東北師範大学（長春））において、語学研修を行います。本学で事前講義を受講した後、夏休みに3週間程度、現地の大学へ行き、協定校の中国人の先生から中国語会話を学び、実践します。

希望者は年度初めに開かれる「国際交流科目説明会」に参加して、今年度の詳細を確認してください。



京劇を鑑賞

明の十三陵にて



＜中国の文化に触れよう＞

外国語を学ぶには、その国のことをよく知ることも大切です。GLOBAL SQUARE（響流館 3F）には中国語の雑誌やビデオなどが置いてありますので、是非のぞいてみてください。何が書いてあるのか解らなくても、ちょっとした風景写真や見たこともないデザイン画が、あなたを未知の世界へと導いてくれるかもしれません。

5. 韓国・朝鮮語

英語ではKoreanと称される言語が日本の学校教育では、韓国・朝鮮語、韓国語、朝鮮語、コリア語など複数の呼び名で呼ばれています。それは朝鮮半島がもともと一つの国、一つの民族であったにもかかわらず、1948年に大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の二つに分断されてしまったためです。朝鮮半島は日本にとって最も近い存在ですが、現在日本と国交があるのは韓国だけで北朝鮮とは現在国交がありません。北朝鮮にたいする情報が限定された状態では、日本と北朝鮮との国交正常化へむけた努力がなされているという事実も案外知られていませんが、国交が正常化した暁には朝鮮半島とのコミュニケーション手段としての言語がますますクローズアップされてくることでしょう。朝鮮半島についての情報が、朝鮮半島の言語でどのように語られているのかを知ることも相互理解に大きく役立つことでしょう。

歴史的に深い関係があった朝鮮半島と日本の間には、今後平和的な交流があるべきですが、現実には拉致未解決問題だけでなく、日本統治時代の清算問題など重要課題も残されたままになっています。

64年にもわたる分断の歴史を経た結果、同民族であっても、韓国地域の人々と北朝鮮地域の人々が使用する言葉とは発音や文法の面で多少異なりをみせるようになってきました。そこで、本学では教育的立場と将来への展望という視点から、現在進行中の困難な政治的諸問題を教育現場に持ち込まず、また、韓国と北朝鮮のどちらか一方を切り捨てたりしないという立場から、韓国・朝鮮語という名称を採用し外国語として教育しています。

韓国と北朝鮮の言葉が違ってきているといっても、細かな発音や単語の種類、正書法に若干の違いがあるだけで、それほど大きな違いがあるわけではありません。韓国・朝鮮語が使われている地域としては、朝鮮半島はもとより、中国の延辺、日本、中央アジア、アメリカなど広範囲に広がっています。

<文法について>

韓国・朝鮮語は日本語を母語とする者にとって、最も学習しやすい言語です。

語順が日本語とまったく一緒なので、単語さえ覚えればあとは直感的に文章を作ることができるからです。

私 は 学生 です。
나 는 학생 입니다.

また、漢字熟語も日本語と大変似た使われかたをしているため、漢字の発音さえ覚えれば語彙力も飛躍的に伸ばすことができます。漢字の発音は基本的に1文字1発音です。

学 - 학 (発音はhak)

学校 - 학교

哲学 - 철학

大学 - 대학

<文字について>

韓国・朝鮮語学習で一番不安に感じるのは「文字」でしょう。韓国・朝鮮語の文字はハングル(한글)といいます。アルファベットでない新しい文字を覚えなれない、丸や棒でできたハングルはまるで記号みたいだ・・・などなど、とても負担に感じる人もいます。でも大丈夫。コツさえつかめば早い人は2日ですべての文字を覚えることができます。ハングルの読み方はローマ字と似ていると考えてください。

가

この文字を読んで見ましょう。左半分が子音で右半分が母音です。母音は長い棒に短い棒がくっついた形になっています。ㄱはkの音、ㅏは母音のaです。ですから、가はカという音になります。

거

거となると、どうでしょう。ㄱはさっきkだと言いました。ㅑはoです。なので거はコとなるわけです。子音と母音は左右に並ぶだけでなく上下にならぶ場合もあります。このとき、上にくるのが子音で下にくるのが母音です。

구

ㄱ(k)とㅜ(u)を組み合わせたものなのでクと読みます。ここでも母音は長い棒(ただし横棒)になっていますね。

最低限覚えるべき子音と母音は以下のとおりです。

基本的な子音10文字	ㄱ ㅋ ㆁ ㆁ ㄷ ㅌ ㄴ ㄹ ㄷ ㄴ ㄹ
基本母音	ㅏ ㅑ ㅓ ㅕ ㅗ ㅛ

これだけしっかり覚えれば、あとはすべて組み合わせであらゆる文字を読むことができるようになります。思ったより簡単でしょう？新しい文字を使いこなせるようになるのはとても面白く、素敵なことです。

<開講科目について>

韓国・朝鮮語（第二外国語）

韓国・朝鮮語Ⅰ（学科科目）

韓国・朝鮮語Ⅱ（学科科目）

<辞書について>

初心者には白水社の『コスモス朝和辞典』などがひきやすくてよいでしょう。勉強が進んでものたりなくなってきたら小学館の『朝鮮語辞典』などの語彙の多いものへ進みましょう。英和辞典の入った電子辞書の購入を考えている人は韓日・日韓辞書と一緒に入っているものを検討してみましょう。たとえば、ジーニアス英和辞典、デジタル大辞泉に小学館の朝鮮語辞典、日韓辞典、Dong-A韓韓辞典が入っているCASIO エクスワードXD-B7600だと、上級になっても使用に耐えます。最初から電子辞書になれてしまうよりは、まずは紙の辞書から入ることをおすすめします。辞書をひくという行為が子音や母音の順番を確認する勉強になりますし、見開いたページで思わぬ発見をすることもあります。電子辞書は長い文章を読むようになってはじめて重宝するものです。そのことを念頭におきながら辞書を使いわけてください。

<検定試験と海外研修・交換留学>

a. 検定試験

日本で独自におこなわれている『「ハングル」能力検定試験』（年2回、6月と11月実施。以下、『ハングル検定』と略す。）と、韓国政府が外国人学習者向けに主催している『韓国語能力試験（TOPIK）』（年2回実施。以下、『TOPIK』と略す。）との2種類あります。

『ハングル検定』は北朝鮮と韓国の両方の正書法を採用した試験で、『TOPIK』は韓国の正書法のみを採用しています。『ハングル検定』は1級から5級までで、1級が最高位です。『TOPIK』は初級、中級、高級があり、併願が可能です。いずれも級をまたいだ併願も可能なので、より上の級をねらうことができます。1年終了時で『ハングル検定』5級は取得できるだけの内容を学習します。自分なりにがんばった人は4級をめざすことも可能です。

b. 海外研修

セット科目【G. アジアを学ぶ】では、「韓国文化研究・実践韓国語」が隔年で開講されており、釜山にある東西大で、短期韓国語研修を実施しています。韓国は、日本にとって最も気軽に行ける隣国です。参加希望者は、4月のオリエンテーション期間に実施される「国際交流科目説明会」に参加し、予備登録をしてください。

c. 交換留学

大谷大学は東國大學校（ソウル・慶州）と東西大學校（釜山）と学術協定を締結しており、相互に交換留学制度が設けられています。

東國大學校は仏教研究において韓国で最も有名な大学ですが、その他の学科もすべてそろった総合大学です。ソウルキャンパスはソウル市のほぼ真ん中に位置しており、明洞や東大門からすぐのところにあります。また、慶州キャンパスは日本の奈良・京都とも比較される新羅の古都で、のどかな田園風景のなか由緒ある遺跡や遺物を身近に感じながら生活することができます。

釜山の東西大學校はIT関係や国際交流に力をいれている新進の大学です。新しく整った施設で気持ちよく学習することができます。

韓国の大学でアカデミックな空気を吸いながら、より一層自分を磨きましょう。交換留学の場合、留学期間中も在籍としてカウントされるので、卒業時期を遅らせることなく4年間で卒業できます。個人での留学に比べて経済的な負担も少ないことも魅力です。

<担当教員よりひとこと>

外国語は苦手だと思っている人や使える言語をひとつくらい持ちたいと思っている人には韓国・朝鮮語がおすすめです。外国語学習にたいするイメージが変わることうけあいです。語学学習を通じて、知っているようで知らない隣国にたいする関心もわいてきます。

幸い、今の日本では韓国ドラマやK-POPを手軽に楽しめるようになっています。ドラマが好きな人は書店で売られているドラマや映画のスク립ト（韓国語の台詞と日本語の台詞が併記してあるもの）を見ながら、ドラマの主人公になったつもりで演じてみましょう。生の会話に慣れるのは人がしゃべっているのをそのまま真似するのが一番。音になれてくると聞き取りの力もぐんとアップします。歌が好きな人はK-POPの歌を覚えてカラオケで歌ってみると面白いです。ドラマの挿入歌など、みんなが聞いたことのある曲を歌うとまわりの人からも喜ばれます。普通のカラオケにも韓国歌謡が意外にたくさんはっていますよ。

インターネットを使って韓国の人たちと直接交流する人も増えてきました。言葉に自信がなくても翻訳サイト（たとえば<http://www.excite.co.jp/world/korean/> など）をうまく利用しながら、いろいろチャレンジしてみてください。韓国に友達ができると一層勉強に熱が入ります。

また、外国にわざわざ出かけなくても、朝鮮半島の文化に触れる機会は日本のなかにもたくさんあります。大阪のコリアンタウン鶴橋を散策するだけでも朝鮮半島の文化や言葉に触れることができますし、京都の東九条や大阪、神戸の各地域で開催されているマダンと呼ばれる民族文化祭では在日コリアンと日本人との共生、南北統一や平和祈願がテーマとなっており、朝鮮半島の食や文化を楽しむことができます。

大阪にある韓国文化院（大阪市北区中崎2-4-2 TEL06-6292-8760、<http://osaka.korean-culture.org/>）は図書室や映像資料室を備えており、韓国語の書籍や映像資料を貸し出しています。そのほかに展覧会や講演会などの各種イベントや文化教室が常時開かれているので参加してみると楽しいですよ。

韓国・朝鮮語は韓国でしか使うことがないんじゃないかと思っている人、そんなことはありません。いろんな国にコリアタウンがありますし、海外に出ると韓国・朝鮮語がびっくりするようなところで役立ってくれることがしばしばあります。

韓国・朝鮮語を学んで自分の世界を広げましょう！



短期韓国語研修 <釜山東西大学校にて>

6. 視聴覚教材利用のすすめ

外国語学習においては、「聴く」「話す」「読む」「書く」という四技能を総合的に伸ばすことが大切です。このうち音声に関わる「聴く」「話す」技能の基礎をつくるには、学習開始から数カ月間の、集中的音声学習が決定的に重要です。また外国語の音韻体系の基礎を身につけた後、自然速度レベルに達しそれを維持するために、引き続き何年も段階を追った音声学習が必要です。日本の多くの学習者は、英語学習においてこれらの練習が不十分なまま、新たな外国語の学習においても同じ道をたどる危険があります。

このような事情を考え、本学ではCALL (Computer Assisted Language Learning) 設備を1313教室に備え、かつすべての外国語授業でCDやカセットテープが使用できるよう機器を揃え、またネイティブ・スピーカーによる外国語会話授業の充実をはかっています。

音声重視の外国語授業も、それだけで学習者の身についた語学力を生み出すことはできません。それには授業以外でも自主的な大量練習が必要であることは、スポーツ、音楽等と同じです。本学では、GLOBAL SQUAREや図書館1階のAVコーナーに様々な視聴覚教材が用意されていますので、積極的に利用してください。

IV. GLOBAL SQUARE 利用のすすめ

外国語を身につけたい、留学したい、留学生と交流したいという学生はGLOBAL SQUARE をご利用ください。

専門の教員による少人数制外国語勉強会、留学説明会、個別相談、留学生との交流イベントを随時実施しています。

また英語、韓国・朝鮮語、中国語、ドイツ語、フランス語に関する資料（DVD・ビデオ、衛星放送、検定試験対策問題集、外国語関係の参考書、留学情報誌、新聞、漫画、雑誌など）が閲覧できます。

他にも、検定試験情報、各種国際交流イベント、奨学金情報、留学情報、渡航関連情報、ビザ情報を提供しています。

<開室時間>

10:30～19:00 月曜日から金曜日

休暇・大学行事等により開室日時が変更になることがあります。

開室日時の詳細は、GLOBAL SQUARE のホームページや掲示板で確認してください。

<場所>

響流館3階

<支援プログラム>

①少人数制外国語勉強会

少人数で集中して語学を学ぶことができます。積極的に参加してください（事前申込制）。開催される勉強会、申込方法・期間、内容等の詳細はGLOBAL SQUARE のホームページや掲示板で確認してください。年度により開催されない勉強会があります。

- ・英語勉強会
- ・韓国・朝鮮語勉強会
- ・中国語勉強会
- ・ドイツ語勉強会
- ・フランス語勉強会
- ・サンスクリット文学輪読会 など開講しています。

②留学支援

留学希望学生を対象に、本学の留学制度の説明、手続き、留学帰国者の単位認定・諸課程、進路、心構えなど留学全般に関する相談を行います。

- ・個別留学相談 10:30～17:00（月～金）※要予約
- ・留学説明会（年2回）
- ・留学出発前オリエンテーション
- ・留学出発直前オリエンテーション

③留学生との交流

GLOBAL SQUARE には一定の時間、留学生アシスタントが在室し、語学や文化・習慣について質問や会話をすることができます。

また、本学で学ぶ外国人留学生と在学生在が交流し、異文化理解を深めるために下記のイベントが開催されます。

- ・文化交流会（年2回実施）
- ・コーヒーアワー など実施予定です。

留学生アシスタントの在室時間、留学生との交流イベントの詳細はGLOBAL SQUARE のホームページや掲示板で確認してください。

<図書・資料>

各言語について、以下の資料は、GLOBAL SQUARE 内で自由に閲覧できます。

パソコンも自由使用でき、語学学習システム（CALL）を利用した自習もできます。

- ①DVD・ビデオ
- ②衛星放送（News Asia, CNN, BBC など）
- ③検定試験対策問題集
- ④外国語関係の参考書
- ⑤留学情報誌
- ⑥新聞
- ⑦漫画
- ⑧雑誌 など

問題集、参考書などの図書資料の利用については、GLOBAL SQUARE カウンターまでお尋ねください。

<その他>

GLOBAL SQUARE では、イベントの企画・実施や、留学生のサポートをする学生アシスタントが活躍しています。

※ 学生アシスタントの募集は、年2回行います（2011年度現在）。興味のある方は、GLOBAL SQUARE カウンターまでお尋ねください。

語学学習や国際交流、留学に少しでも興味のある方は、気軽にGLOBAL SQUARE をご利用ください。

E-mail G-square@sec.otani.ac.jp

URL <http://www.otani.ac.jp/22>

（大学ホームページの『国際交流／語学学習』メニューをクリック）